

衣浦東部広域連携推進ビジョン（第4次広域行政圏計画） <概要版>

『衣浦東部広域連携推進ビジョン（第4次広域行政圏計画）』は、本圏域がめざす将来像とそれを達成するため、今後、本圏域各市が連携し、効果的かつ効率的な施策を展開していくための方向性を明らかにすることを目的とし、第3次広域行政圏計画より**広域連携に特化した計画（ビジョン）**として策定します。

また、本ビジョンの推進にあたっては、関係5市の連携・調整を密に図りながら、圏域住民の理解と協力によって展開していきます。

<<圏域の将来像>>

悠・遊 生活・産業文化圏域

- ◇ 医療・福祉などが充実した安心できる圏域
- ◇ 快適で安全な居住空間が形成された圏域
- ◇ 次代の担い手となる子どもたちがいきいきと育まれる圏域
- ◇ モノづくりを通じて、つくる喜びを地域文化として定着させられる圏域

安全・安心な生活が確保された中で、生活の楽しみとふれあいを求める人々の日常的な生活創造活動、社会システムと地域経済を支え育てる舞台と仕組みを整えながら、地域に根ざし、手を携えて共に生きる、出会いと交流、暮らしとモノづくりの文化が育つ、そんな圏域を目指します。

<<ビジョンの期間>>

本ビジョンについては、平成28年度（2016年度）から平成37年度（2025年度）までの10箇年の圏域の広域連携の方向性について定めるものとし、必要に応じ見直しをするものとします。

	平成12年度～平成27年度	平成28年度～平成37年度 (2016年度～2025年度)
第3次広域行政圏計画	→ 改訂 H23～H27	
圏域の将来像		→
衣浦東部広域連携推進ビジョン (第4次広域行政圏計画)		H28～H37 (2016～2025) 必要に応じ 見直し

<<ビジョンの構成>>

本ビジョンの構成については、第3次広域行政圏計画で定めた基本構想における圏域の将来像実現に向けた6つの「施策の大綱」をベースに、現社会情勢や将来の社会の変化（地方創生やICT技術、マイナンバー、リニアインパクト、東京オリンピック、TPPの影響など）を加味し再構築しています。

ビジョン1 都市基盤 ～圏域を支える質の高い空間基盤づくり～

- ◆ 広域連携・協調による都市基盤整備の推進
- ◆ リニアインパクトを見据えた圏域の一体的な広域連携の基盤を支える道路・交通ネットワークの整備

ビジョン2 都市環境 ～快適で魅力ある生活・生産環境づくり～

- ◆ 環境にやさしい低炭素社会の推進 ◆ 快適な都市空間を実現する循環型社会の推進
- ◆ 県営油ヶ淵水辺公園の整備 ◆ 防災・減災機能の強化 ◆ 安全・安心な生活環境の確保

ビジョン3 産業・経済 ～活力ある創造的で高度な産業圏域づくり～

- ◆ 国際競争力を高める広域連携の充実・強化 ◆ 持続・発展していく農業圏づくり
- ◆ 商業・サービス業の活性化と観光地域づくり

ビジョン4 健康・福祉 ～いきいきと人が輝き支えあう圏域づくり～

- ◆ 障害者、高齢者が安心して生活できる環境づくり
- ◆ 圏域内における医療・介護・福祉サービスの質の向上と協力体制づくり
- ◆ 福祉関係団体・サークル等の交流機会の創出 ◆ 健康づくりと社会参加

ビジョン5 交流・教育・文化 ～ふれあい 知り深める喜びに満ちた圏域づくり～

- ◆ ICT（情報通信技術）の更なる活用 ◆ 地域全体での人づくり環境の整備
- ◆ 交流する機会の創出

ビジョン6 地域づくり ～分かち合い手を携える地域づくり～

- ◆ 社会参画しやすい環境の整備 ◆ 地域住民主体のまちづくり ◆ 男女が協働する地域社会づくり
- ◆ 行政事務連携の積極的な推進 ◆ 新たな広域連携の可能性の研究



碧南市



刈谷市



安城市



知立市



高浜市